

平成 28 年度
図書館評価

平成 29 年 7 月
岐阜県図書館

I 平成 28 年度アクションプランの取組状況

I 「岐阜県図書館の運営方針」の推進

1 資料の収集・保存

取 組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 重点分野の図書の充実とコーナー設置	平成 28 年度は重点 3 分野のうち「海外情報」コーナーの設置を行います。	<p>【取組実績】 海外情報コーナーを設置した。特に語学学習関連資料の充実を図った（外国語学習資料 約 100 点、日本語学習資料 約 50 点、英語多読資料 約 700 点）。また、海外教育コーナーとして、海外の小学校で使用されている教科書を 11 か国分約 100 点購入した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 海外情報コーナーに設置する資料は 29 年度も引き続き購入して充実をはかる。</p>
		<p>【取組実績】 海外情報コーナーのほかにも、以下のコーナーを新設、拡充した。 ①子育て支援コーナーを拡充し、県内市町村の子育て関連刊行物を収集し排架した。 ②地元金融機関の寄贈による「ぎふ清流文庫」を新設し、「関ヶ原合戦」、「杉原千畝」、「航空宇宙産業」、「郷土作家」の 4 テーマの資料約 2,761 冊を配置した。 ③10代を対象とした「ティーンズコーナー」を新設した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 引き続き各コーナーに必要な資料の充実をはかる。</p>
イ 各分野の専門家による蔵書評価の計画的な実施と資料収集への反映	重点 3 分野について、それぞれ専門家に依頼して蔵書評価を実施し、選書の際の参考とします。	<p>【取組実績】 専門家による蔵書評価を重点 2 分野について実施し、選書に反映させて県民や時代のニーズに合った資料を収集するように努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい・福祉：1月27日（金） 岐阜県障がい者総合相談センター職員 4名 ・海外情報：3月23日（木） 岐阜聖徳学園大学外国語学部教授 宗宮喜代子氏 ・子育て：未実施 <p>蔵書評価は未実施だが、県子育て支援課等から子育て支援コーナーの運営について助言を受け、コーナーをリニューアルした。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 障がい・福祉は基本図書の扱い方、関係者への配慮事項等、海外情報は英語学習資料の区分け、各国情報の紹介の仕方等、実践的なアドバイスをいただき、その後の選書に反映させた。 今後は未着手の分野を順次実施する。29年度は技術・産業分野を予定している。</p>

ウ 市町村図書館の蔵書調査実施	平成 27 年度に実施した岐阜市との蔵書比較に引き続き、市町と県の収集役割の分担を協議、市町で活用する方法を検討します。	<p>【取組実績】 27 年度に実施した重複調査の結果（重複率 16.4%）に基づき、岐阜市と県の収集役割等について実務担当者の意見交換会を実施した。 岐阜市以外の市町村との蔵書比較は未実施。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 岐阜市については蔵書構成の違いが明らかになった。今後は、他の市町についても蔵書調査を実施し、県の収集役割等について検討をすすめる。</p>
エ 利用者目線の館内表示と資料排架	新コーナーの設置に合わせて館内案内表示や掲示物の改善、利用者に取り取ってもらいやすい図書資料の排架方法を検討し、進めます。	<p>【取組実績】 海外情報コーナーは、大きく 4 つの区分に分け、その中でも内容に応じてさらに 9 つの区分に分けた。それぞれについて、どのようなときに使えるコーナーか、どのような資料が置いてあるかを示した案内表示を作成した。 1 階と 2 階の資料案内表示をそれぞれの階のエレベーター横に掲示した。 案内図を見やすい形に改定し、1 階 2 階の資料案内と一緒に閲覧室入口に掲示した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 案内表示を改善し、見やすくなった。今後も新たなコーナーを設置する際は、利用者目線に立った排架と案内表示、掲示を総合的に考慮して設置する。</p>

<継続する取組>

- ・レファレンスサービスや「しらべかた案内」（パスファインダー）に連動した資料収集

レファレンスサービスの過程等でつけた有用な未所蔵資料について、資料収集参考票をもとに 803 冊の資料を収集した。今後も引き続き、レファレンスサービスに活用できる資料の収集に努める。

- ・複本の計画的な除籍

複本の除籍は「ぎふ清流の国文庫」の受入処理を優先し実施を見送った。平成 29 年度は複本調査を行い、蔵書構成や書庫事情を考慮した除籍を実施する。

2 図書館サービス

① 生涯学習の支援及び施設を利用した学習機会等の提供

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 郷土作家に係る情報発信の強化	1 階企画展示室において郷土作家を紹介する常設展示等を行うとともに、「郷土作家・監督の作品の映画上演会」を開催します。	<p>【取組実績】 郷土作家展示は、企画の見直しを行い、28 年度はパネルのみ作成した。 映画上演は、郷土作家・監督に関わらず、当館所蔵資料を上演する「なつかシネマ」として 28 年度に 1 回試行した。（「第三の男」「ロビンソン・クルーソー」「伊豆の踊り子」の 3 本を上映 参加者数 73 名）</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 平成 29 年 10 月～現代作家、平成 30 年 1 月～近代作家の展示を実施することとした。「なつかシネマ」は、29 年度は「なつかシネマ上映会」として定例化する。</p>

<p>イ 講演会や読書活動推進イベントの開催</p>	<p>国内外の有識者による講演会や各年齢層に応じた読書活動推進イベントを開催し、新規利用者の獲得を図ります。</p>	<p>【取組実績】 以下のイベントを実施し、多くの参加者を得た。 ・楽習会：8回 272名 ・大人のためのブックトーク：8回 316名 ・紺野美沙子朗読会「幸せの絵本」：300名 ・おすすめの1冊コンクール表彰式・講演会：230名 ・杉原千畝講演会：300名 ・読書通帳、オリジナルしおりを配布</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 イベントを多く開催し、関連資料展示やリスト配布により参加者を閲覧室に誘導することで、28年度入室者数対27年度比で1.2%増となった。一方、貸出冊数やレファレンス件数、新規登録者数は減少しており、利用者の獲得には至らなかった。 29年度は単なるイベントだけではなく、司書が出向いて主体的、能動的に課題解決を支援し、利用者を獲得する事業を展開していく。</p>
<p>ウ 開架スペースにおける図書の展示（特集コーナー）</p>	<p>県民の読書活動を応援するため、月毎に旬なテーマを選定する「司書のおすすめの本」コーナーや、郷土関係展示コーナー、児童企画展示コーナーのほか、講演会、共催事業等に併せた特集展示を開架スペースにおいて行います。</p>	<p>【取組実績】 以下の展示を実施し、貸出された。 ・司書のおすすめ本コーナー ・話題の本棚 ・共催事業連携展示 ・郷土ミニ展示</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 28年度は途中から展示が増えたため、多い時は3種類の展示が同時に閲覧室入口付近に設置されていた。今後は効果的な展示となるよう、「司書のおすすめ本」展示計画に、共催事業連携展示を組み込み、1か所に多くの展示を設置しないようにする。</p>
<p>エ 障がい者用機器の充実</p>	<p>障がい者の図書館利用を支援するため、障がい者用バリアフリー機器や視覚障がい者用ソフトウェアなどの充実を図ります。</p>	<p>【取組実績】 障がい者支援のため、拡大読書器、眼鏡型拡大ルーペ、活字文書読上げ装置、助聴器、簡易筆談器、呼出器、読書補助具を購入、設置した。また、視覚障がい者用ソフトウェア（音声ブラウザ、マルチメディアプレイヤー再生ソフト、点訳ソフト等）を新しく購入、バージョンアップし、充実を図った。随時ホームページ上のバリアフリー情報を更新した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 バリアフリー機器等を館内やウェブサイトで紹介し、利活用を促す。 また、29年度は視覚障がい者への音訳サービスを担うサポーター（視覚障がい者サービス協力者）を5年ぶりに新規募集し、「音訳講習会初級講座」を開催予定。</p>
<p>オ グループでの貸室利用の促進</p>	<p>2階の「行政資料研究室」、「研究室」を図書館資料による調査研究やミーティングにさらに</p>	<p>【取組実績】 ビジネス支援として、岐阜県産業経済振興センターメールマガジンにビジネス関係図書の新着情報と関連レファレンス事例を掲載する際に、研修室の活用を</p>

	活用されるよう、ビジネスユーザー等に積極的にPRし、利用拡大を図ります。	PRした。 実績：27年度193名 28年度266名 【成果・課題・今後の方針】 大型資料の閲覧や大学ゼミの利用など調査研究の用途は定着しつつある。ビジネスユーザーに対しては、図書館資料利用が前提であることなど趣旨を明示してPRを図る。
カ 参加型図書館サービスの創出	司書と利用者がともに参加するワークショップ等を開催するなど、図書館の活動に主体的に参加したい人を募り、新たな図書館サービスの創出を図ります。	【取組実績】 11月に開催の「文化の森の秋祭り」（歩行者天国イベント）において、司書・サポーターによるワークショップや布絵本の展示と実演「む ^む 々 ^む &芽 ^が 夢」を実施した。 【成果・課題・今後の方針】 29年度は、「パパと過ごす図書館」での県レクリエーション協会、留学生と語り合う「教えて！海外教育事情」での国際交流センターなど、より幅広い団体と協力しながら参加型図書館サービスを拡充していく。

<継続する取組>

- ・おはなし会の実施（英語・韓国語・中国語など含む）
対象別おはなし会を実施した（実施回数：54回、参加者数：1,046名）。児童サービス担当者は、おはなし会での実践をもとに、出前講座等で読み聞かせ講師を務めており、今後も引き続き実施する。
- ・児童図書研究室資料を活用した、子どもと本を結ぶ活動・研究の支援
絵本紹介冊子『魔法の扉を開いてみませんか？知識の絵本編』を刊行し、市町図書館等へ配布を行った。29年度に入り、追加の配布依頼が頻繁にあり、十分に活用されている。29年度は絵本紹介リスト「25さいをすぎた絵本」の改訂を予定している。
- ・児童図書における郷土作家リストの作成・提供
主要な児童図書における郷土作家についてはリスト化し、「ぎふ清流の国文庫」の整備に役立てた。「赤座憲久」「あだちなみ」「市川里美」「岸武雄」「木村小舟」「しみずみちを」「高島純」「高島那生」「ひぐちみちこ」「水野政雄」「村上康成」「わかやまけん」の著作を「ぎふ清流の国文庫」に入れた。
- ・高校を対象にしたセット文庫の貸出
28年度新設の海外情報コーナーに英語の多読テキストを設置したことにともない、セット文庫でも中学生から使えるレベルのテキストを中心に5セット66冊を新規購入した。今後、活用を呼びかけていく。
- ・利用が困難な県民の時間・距離を縮めるサービスへの取組
相互貸借、遠隔地返却サービス、市町村図書館からのレファレンス対応、郵送による利用者登録、郵送複写サービスなど、いずれも定着している。今後も、県下全体をサービス対象とする唯一の県立図書館として、来館が困難な利用者のためのサービスに努める。

② 課題解決の支援と他機関との連携

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 県政サポートサービスの実施	県庁まで図書資料を届ける「本・雑誌の貸出サービス」や県の施策立案を支援する	【取組実績】 8月に県庁各課宛てに文書通知し、以下の実績があった。

	<p>図書を図書館が購入する「本の購入リクエスト」、行政レファレンス等の利用拡大を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出：93件 278冊 ・購入リクエスト：5件 9冊 ・行政レファレンス：67件 <p>【成果・課題・今後の方針】</p> <p>もっとも貸出利用が多い所属は議事調査課（議会図書室）で57件 184冊であった。次が社会教育文化課の16件 58冊であり、この二つの課で貸出全体の8割方を占めている。リクエスト、レファレンスも社会教育文化課が多く利用しており、今後の課題として、より多くの課に活用してもらえよう周知を図る。</p>
イ 行政機関・団体との連携	<p>行政機関や関係団体等が多目的ホール等図書館施設を利用して開催するセミナー等の共催実施を増大し、関連する図書資料のブックリスト配布等により連携を強化・拡大します。</p>	<p>【取組実績】</p> <p>県精神保健福祉センター、伊藤忠記念財団、全国健康保険協会岐阜支部、難病団体連絡協議会などと共催で講演会、セミナー等を開催し、多くの参加者を得た。また、県水資源課、河川課と共催パネル展を楽書交流サロンで実施。そのつど関連資料展示とブックリスト配布を行った。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】</p> <p>貸出冊数増には至らなかったが、講演会参加者の多くが閲覧室内に入り関連展示の資料を手取る姿が見られた。今後も、共催講演会での関連展示とリスト配布を実施していく。</p>
ウ 他の文化施設等との連携事業の実施	<p>美術館や博物館や歴史資料館等の文化施設との連携による展示や講演会などを実施します。</p>	<p>【取組実績】</p> <p>博物館、文化財保護センターと共催し当館で実施した講演会、特別展、パネル展では多くの参加者を得た。美術館との連携では特別展開催時期に合わせて当館の関連資料を閲覧室に展示した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】</p> <p>今後は、美術館、博物館、文化財保護センターに清流文化プラザを含め、連携事業を実施する。</p>

<継続する取組>

- ・県民や地域の課題解決に即した図書館活用講座の開催（お父さんお母さんのための読み聞かせ講座、図書館探検ツアー等）

子育て世代・子育て支援関係者への支援として、「お父さんお母さんのための読み聞かせ講座」を実施した（毎年1回 参加者数：35名）。また、「子育て世代のための文化系トーク in おはなし室」を実施した（3回 参加者数：77名）。29年度は「パパと過ごす図書館」と題した親子で楽しめる催しを開催する（通年、月1回程度）。

図書館探検ツアーは2月に実施したが、小学生が「図書館について調べる」課題をもって来館することがあるため、29年度は子どもの読書週間期間と夏休み期間に子ども向けの図書館探検ツアーを実施する。

- ・「しらべかた案内」（パスファインダー）の作成と利用促進、ホームページでの公開
28年度は健康医療関係等の各パスファインダーについて、9件の内容を更新した。

29年度は、能動的課題解決支援関連分野（子育て、障がい者（児）・高齢福祉、健康医療、ビジネス支援、学校教育、ふるさと教育、グローバル人材育成）に関連するパスファインダーを更新する。

- ・「夏休みわくわく地図教室」、「児童生徒地図作品展」の開催（日本地図センター及び国土地理協会助成事業）

「夏休みわくわく地図教室」は2日間開催し、79名参加。「児童生徒地図作品展」は応募実績294点(106校)で、入賞15点、入選45点。最優秀作品は全国展に出品し国土交通大臣賞を受賞した。

両事業とも例年多くの参加がある。身近な地域の地図を作成することは、児童・生徒が郷土を知り、ふるさとへの愛着を育む機会につながるものであり、今後も継続する。

③情報サービスの充実

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア Wi-Fi環境の整備	パソコン利用者向けサービスを強化するため、電気通信事業者が提供するWi-Fi環境を整えます。	<p>【取組実績】 電気通信事業者1社（NTTドコモ）がアクセスポイントを整備し、これまでのソフトバンクに加え、計2社の利用が可能となった。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 引き続き、電気通信事業者へ環境整備の呼びかけを継続していく。</p>

<継続する取組>

- ・地図資料のデジタル化とホームページでの公開

平成26年度から計画的にデジタル化を行っており、28年度は14点（168枚）を実施。29年度も岐阜県関係のもの、高額・貴重なもの、年代の古いものを中心に継続する。著作者が不明な資料の著作権処理を要することが課題。28年度は文化庁の裁定制度を円滑化する事業（オーファンワークス実証事業）を活用することで、事務を合理化することができた。

- ・岐阜県関係新聞記事のデータベースの充実

28年度は9,958件の入力を行った。館内では郷土関係レファレンスにおいて日常的に用いられている。またウェブ公開により他の図書館や来館しない利用者でも利用できる、県立図書館ならではのサービスとして、29年度も継続する。

- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供

28年度は173件の利用。引き続き提供していく。

- ・デジタル化資料「授業で使える県図書館所蔵地図」の利用促進

小中高の教員で構成する「地図活用研究会」で作成。28年度は、9点を作成しホームページで公開した（計36点）。29年度も新規の地図を作成するとともに、年3回の研究会で活用方法の共通理解を図り、授業での実践例などを検討する。

- ・ホームページのマイライブラリ機能の活用促進

新規登録される利用者にマイライブラリ機能について説明し、パスワード登録を申し込まれた方にチラシをお渡しして各種設定と機能について説明している。今後も引き続き活用促進を図る。

④ 施設・設備の維持管理

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 企画展示室改修	文化施設から貴重な展示物を借用して特別展示を行うには、現在の企画展示室は、展示物の陳列、空調、免震、調光、燻蒸の5つの要素の機能が十分でないため、展示室機能高度化のための工事を実施します。	<p>【取組実績】 企画展示室空調の24時間化、照明のLED化、防犯カメラの設置、入場者カウンター設置、壁紙等の張替、その他の補修工事を完了した。 展示物の燻蒸を実施するために燻蒸室を修理し、博物館連携展示の際に展示した「太政官布告（明治9年）」及び燻蒸未実施の古書、貴重資料293点の燻蒸を実施した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 29年度、企画展示室は郷土作家展示や博物館との連携事業などに活用する。 燻蒸については、今後、展示に使用する貴重資料や新たに入手した古書を中心に、計画的に実施していく。</p>
イ 送風機インバータ改修工事	ロビーなど空調を入れる箇所の増加に対応するため、送風機インバータを改修することで、冷暖房効率をあげるとともに快適な環境の提供につながります。	<p>【取組実績】 平成28年8月に改修工事が完了した。</p>
ウ 屋外渡り廊下及び避難階段改修工事	開館後20年が経過し、施設の老朽化が著しい屋外渡り廊下及び避難階段のタイル張り替えやサビ止め加工等を実施します。	<p>【取組実績】 緊急を要する修繕工事（1階開架閲覧室ガラス取替工事等）に係る予算を優先して執行したため未実施。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 当該工事は今後実施する外壁改修工事に併せて改修予定。</p>

<継続する取組>

- ・空調設備改修工事

開館から22年が経過し、経年劣化により施設及び設備に改修箇所が増加しているため、今後は、県有施設中期保全計画等に基づき、計画的に改修を実施していく。

3 県内市町村図書館等への支援

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 岐阜県公共図書館館長サミットの開催	県内の公共図書館の館長が、特定テーマで意見交換する会議（サミット）を開催します。	<p>【取組実績】 5月18日（水）実施 県内公共図書館36館中27館が参加し、講演後、意見交換会を実施した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 29年度は「岐阜県公共図書館館長トップセミナー」として、講演と事例発表、意見交換を実施予定。</p>

<継続する取組>

・相互貸借の利用促進

県内市町村図書館、未設置町村の中央公民館への相互貸借定期配送便は、現在、週1回の運行となっている。週2回の運行を希望するか、図書館、公民館に調査したところ4館が希望すると回答した。29年度は、該当する4館について週2回の運行を実施する。

・市町村図書館等職員に対する階層別・目的別研修の実施

司書等研修会、初任者専門研修、児童サービス実践研修講座等の階層別、目的別研修を実施し、市町村図書館職員多数の参加を得た。29年度は、文部科学省図書館地区別研修の東海北陸地区担当に当たっているため、司書等研修会をこの研修に代えて実施し、初任者専門研修と児童サービス実践研修講座は例年どおり実施する。

・児童サービス実践研修講座の開催

7月5日(火)実施。「特別な支援が必要な子どもたちへの図書館サービス」(講師：浅沼さゆ子氏 東京都立図書館)と「岐阜県図書館の活用講座【児童サービス編】」(講師：当館職員)を行った。29年度は7月7日(金)に「ストーリーテリングの講義と実践」(講師：下澤いづみ氏 名古屋ストーリーテリングの会「まほうのおなべ」主宰)を実施した。受講者アンケートによると満足度の高い研修であった。

・市町村図書館等への職員の講師派遣

児童サービス関連、地図資料活用関連のほか、図書館の選書や危機管理、接遇などのテーマで、計16回の出前講座に当館職員を講師として派遣した。今後も、市町村図書館等の要望に応じて講師派遣を実施する。

・地区別の意見交換会の実施

県内6地区にて、市町図書館職員と当館職員との意見交換会を実施し、市町からの相談、要望に対応した。また、可茂地区の図書館未設置町村については公民館図書室担当者会を開催し、当館職員との意見交換を実施した。

4 職員研修・広報活動

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 職員のスキルの向上	県図書館を支えるスタッフ(司書等)に対し、情報発信力などのスキルを向上するための研修を行います。	<p>【取組実績】 図書館職員創造力強化研修を全職員を対象に計5回実施した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 研修の成果を広報やイベントの企画・実施に活かし、情報発信力を強化していく。</p>
イ 名誉館長を活用した広報の実施	平成28年1月に女優 紺野美沙子氏が名誉館長に就任しました。今後、当館において朗読会・講演会の開催のほか、記念行事への出席、広報への協力、図書館運営への助言な	<p>【取組実績】 11月3日紺野美沙子朗読会「幸せの絵本」：300名参加 3月18日紺野美沙子講演会「国連開発親善大使として見たこと考えたこと」：300名参加</p>

	<p>などを予定しています。</p>	<p>イベントカレンダー表紙やクリアファイル等に紺野美沙子氏写真を使用した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】</p> <p>今後も年2回程度来館し、朗読会等を実施するほか、広報物などにも積極的に活用していく。</p>
<p>ウ パンフレット等を活用した図書館の利用促進</p>	<p>平成27年度に作成した利用者向けの「岐阜県図書館活用ハンドブック」を関係機関、業界団体等に積極的に配布し、図書館の機能を周知することで新規利用者の獲得を図ります。</p>	<p>【取組実績】</p> <p>図書館のイベントで配布したほか、産業経済振興センター、中小企業団体中央会訪問への訪問と、ITものづくり推進ラボ連絡会出席により、ハンドブック配布と図書館活用PRを実施した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】</p> <p>引き続きパンフレットを配布する。また、29年度能動的課題解決支援の一つとしてビジネス支援を推進し、図書館の利用促進を図る。</p>

<継続する取組>

- ・ 定期的なレファレンス研修及び全体会議等を利用した研修の実施

レファレンス研修は、5月から2月の間に計19回、朝のミーティング後に行った。また、全体会議を利用し、図書館関連法規、サービス・公務員倫理、情報セキュリティ、危機管理等に係る職員研修を実施した。今後は、全職員が一度に受講できる全体会議でレファレンス研修を集約して実施する等、より効果的な実施方法を検討する。
- ・ 他団体の主催する講座・研修会への職員の計画的な派遣

市町村教育委員会、小学校、県内地区公共図書館協議会等の要望に応じて、出前講座等に職員を派遣した。今後も要望に応じて派遣していく。
- ・ ソーシャルネットワーキングサービスの活用やホームページの一層の充実による情報発信

ブックトーク実施後、概要をホームページに掲載し、来館が困難な利用者に向けた情報発信を拡充した。SNSは、県広報課の公式フェイスブック「ミナモだより」を積極的に活用していく。
- ・ 地図作品展や地図活用研究会の成果を活用した授業の実施促進による地図資料の広報

地図作品展は、児童・生徒が地図を作成するうえで、当館の地図やそのデジタルデータを活用している。地図活用研究会では「授業で使える当館所蔵地図」を作成し公開することで、地図資料の活用を提案することができた。また研究会委員に資料を作成してもらおうこと自体が、現場の教員が当館の所蔵資料を知り、実際の教育現場で活用する機会を増やすことにつながる。

II 新たなステージを迎えた岐阜県図書館（再掲含む）

1 企画コーディネーターの設置

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 企画コーディネーターの設置	「情報共有・発信型図書館」とするために、27年度中に設置した民間有識者3名の「企画コーディネーター」から助言を得て、28年度以降の事業の企画立案を行うとともに、広報などの情報発信や施設運営の方法などについても、指導・助言をいただきます。	【取組実績】 企画コーディネーター会議を1回開催したほか、図書館職員創造力強化研修の講師を担当していただいた。 【成果・課題・今後の方針】 29年度は情報共有・発信型図書館を推進する中で、必要に応じ随時意見を聴くこととする。

2 名誉館長の設置

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 名誉館長の設置	平成28年1月に女優 紺野美沙子氏が名誉館長に就任しました。今後、当館において朗読会・講演会の開催のほか、記念行事への出席、広報への協力、図書館運営への助言などを予定しています。	再掲 8p 参照

3 郷土を知り学ぶ機会の創出

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 「郷土作家」展示の常設化	1階企画展示室において郷土作家を紹介する常設展示を開始します。また、市町村等とも連携し、郷土ゆかりの作家も含め、テーマ毎に特集を組みます。	【取組実績】 郷土作家展示は企画の見直しを行い、28年度はパネルのみ作成した。 【成果・課題・今後の方針】 郷土作家展示の縮小版を作成し、市町図書館に貸し出して巡回展を開催する。
イ 郷土にゆかりの映画上演会	郷土作家や岐阜県出身の監督の映画作品などを上演します。	再掲 2p 参照

<継続する取組>

- ・「児童生徒地図作品展」の開催

再掲 6p 参照

- ・ぎふけん・おすすめの1冊コンクール記念講演会（講師：郷土作家等）

28年度は夏に全国ロードショー公開されたアニメ映画「ルドルフとイッパイアッテナ」の原作者・斉藤洋氏の講演会を実施した。講演終了後はロビーでサイン会も行われ、参加者から好評を得た。今後も引き続き作家による講演会を実施していく。

4 県民の課題解決を支援する図書館サービスの提供

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 子育て世代・子育て支援関係者への支援	専門家から意見を聞き、児童図書、児童図書研究資料等の充実を検討します。	<p>【取組実績】 県庁担当課、NPO 法人から子育て支援コーナーの運営についての助言を受けコーナーをリニューアルし、雑誌の充実、県内市町村の子育て支援に関する冊子等を収集・展示・提供している。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 29 年度、子育て支援課と連携を図りながら冊子等の収集を行う。</p>
イ 障がい者（児）・福祉関係者、特別支援教育への支援	バリアフリー機器（助聴器、拡大読書器など）、ソフトウェア（音声ブラウザ）を導入します。また、専門家から意見を聞き、福祉関連図書等の充実を検討します。	<p>【取組実績】 障がい者支援のため、拡大読書器、眼鏡型拡大ルーペ、活字文書読上げ装置、呼出器、読書補助具を購入、設置した。また、視覚障がい者用ソフトウェア（音声ブラウザ、マルチメディアデイジー再生ソフト、点訳ソフト等）を新しく購入、バージョンアップし、充実を図った。</p> <p>随時ホームページ上のバリアフリー情報を更新した。（再掲）</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 バリアフリー機器等を館内やウェブサイトで紹介し利活用を促す。（再掲） 障がい者（児）・高齢福祉関係機関や特別支援学校へ出向いての資料貸出等を行う。</p>
ウ ビジネス支援	<p>ビジネス支援として2階「行政研究室」や「研究室」の積極的な活用を働きかけます。</p> <p>また、平成 27 年度に作成した利用者向けの「岐阜県図書館活用ハンドブック」を関係機関、業界団体等に積極的に配布し、図書館の機能を周知し、また関係機関とのセミナー等の共催を進めることで、図書館の利用を促します。</p>	<p>【取組実績】 ITモノづくり推進ラボの連絡会に参加し図書館の活用について周知した。また、新規データベースの導入について検討を行った。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 「能動的課題解決支援」の1分野に位置付け、新たにデータベース6種類を導入するとともに、関係団体と連携したセミナー等を開催する。</p>

<継続する取組>

- ・「夏休みわくわく地図教室」の開催

再掲 6p 参照

- ・図書館探検ツアー（図書館活用講座）の実施

再掲 5p 参照

5 世界に開かれた交流の場の創出

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 海外情報コーナーの新設	1階開架閲覧室内に、外国語資料のほか、各国情勢や文化・民俗、語学の関連図書等を集めたコーナーを新設します。	<p>【取組実績】 2月28日(火)より海外情報コーナーとして、外国語資料・各国情報・語学学習・外国語新聞雑誌の4区分に分け、再整備を行った。また、児童コーナーには海外教育コーナーとして、外国の小学校で使用されている教科書や世界の文化を知る資料を集め、子どもたちが世界に触れるためのコーナーを新設した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 グローバル人材の育成に資する関連図書等を今後も引き続き収集し、利用に供する。</p>
イ 国内外の有識者による講演会、シンポジウム等の開催	海外情報コーナーと連携し、国際分野の有識者による講演会等を開催します。	<p>【取組実績】 3月18日(土)に、名誉館長 紺野美沙子氏による講演会「国連開発計画(UNDP)親善大使として、見たこと、感じたこと」を開催し、約300名が参加した。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 海外情報コーナー、海外教育コーナーの各資料を活用できる連続講座等を開催する。少人数で行い、実習や質疑中心の実践的な内容とする。</p>
ウ 読書活動推進イベントの開催	名誉館長 紺野美沙子氏による朗読会、大学教授や県図書館司書によるブックトーク、オープンエアで楽しむ図書館などを実施します。	再掲 3p 参照

<継続する取組>

[幼児・小中学生向け]

- ・おはなし会(英語・韓国語・中国語含む)

再掲 4p 参照

[高校生以上向け]

- ・楽習会(年6回 共催:岐阜大学教育学部教育講座)

岐阜大学との連携事業として28年度は8回開催し、のべ272名が参加した。大学活性化経費(地域連携)事業として実施されていたが、28年度を最後に当事業の対象からはずれることになった。

29年度からは、十六銀行産学連携プロジェクトくるるセミナーと岐阜大学、岐阜県図書館の連携事業として、内容はそのまま、場所も当館にて開催する。

- ・おすすめの1冊コンクール・講演会

再掲 3p 参照

6 県内市町村等との連携、他の文化施設との連携

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 県内の市町村・学校・大学の図書館等との連携強化	岐阜県公共図書館館長サミットを開催します。また、県図書館の利用が困難な県民の時間・距離を縮めるサービスの充実に取り組みます。	再掲 7p・4p 参照
イ 他の文化施設との連携	美術館や博物館や歴史資料館等の文化施設との連携による展示や講演会などを実施します。	再掲 5p 参照

<継続する取組>

- 相互貸借の利用促進、図書館未設置の8町村に対する貸出文庫を継続、「楽天いどう図書館」の利用促進

相互貸借定期便は市町図書館、図書館未設置町村の中央公民館図書室に実施し、図書館未設置町村への貸出文庫は年1回の巡回訪問時に希望に応じて持参し貸出を実施した。

「楽天いどう図書館」は、29年5月末で県図書館の本を搭載した運行方法を終了し、電子図書館「Over Drive」を活用した運行に移行する予定。県内利用施設には平成28年度中に社会教育文化課から周知した。貸出された本は楽天が回収して、すべての本を当館に返却する。

- 県美術館の企画展に連動した蔵書コーナー設置

再掲 5p 参照

7 県図書館の環境整備

取組	具体的内容	取組実績と成果・課題・今後の方針
ア 企画展示室改修	文化施設から貴重な展示物を借用して特別展示を行うには、現在の企画展示室は、展示物の陳列、空調、免震、調光、燻蒸の5つの要素の機能が十分でないため、展示室機能高度化のための工事等を実施します。	再掲 7p 参照
イ 県図書館司書のスキルアップ	県図書館を支えるスタッフ（司書等）に対し、情報発信力などのスキルを向上するための研修を行います。	再掲 8p 参照
ウ 館内環境の整備	利用者にわかりやすい図書の配置や館内表示を実現するとともに、通信事業者が提供するWi-Fi環境の整備など、新たな図書館利用者ニーズへの対応を検討します。	再掲 2p・6p 参照

<p>エ 広報の強化</p>	<p>名誉館長を活用した県図書館のPRを行う。また、図書館広報紙を見直し、新たにイベントカレンダーを作成するとともに、メールマガジンを発行することで情報発信を強化し、新規利用者の獲得を図ります。</p>	<p>【取組実績】 27年度までのツイッターに代えてメールマガジンを5月より11回発信した。 イベントカレンダーを2回(前期5千部・後期1万部)発行した。 各イベントのチラシ、ポスターの外注を進めるとともに、広報課のデザイン指導を活用し、質を向上させた。 記者クラブへの資料配布を積極的に行い、30件の記事掲載があった。</p> <p>【成果・課題・今後の方針】 ポスター、イベントチラシの館内における設置方法やコンビニへの配付(広報課)を検討するなど、引き続き、効率的・効果的な広報の実施に努める。</p>
<p>オ 参加型図書館サービスの創出</p>	<p>司書と利用者がともに参加するワークショップ等を開催するなど、図書館の活動に主体的に参加したい人を募り、新たな図書館サービスの創出を図ります。</p>	<p>再掲 4p 参照</p>

<継続する取組>

- ・資料のデジタル化の実施

再掲 6p 参照

- ・資料を活用したグループワークに対する研究室貸し出し

再掲 3p 参照

平成28年度評価指標

アクションプランをより多面的に検証していくために、従来の7項目に加え、新たに数値を比較していきます。
(従来の7指標が太枠で囲ったもの)

○資料の収集・保存

指標		実績	H26	H27	H28
基本的な指標	資料費	実績	5,000万円(全国21位)	5,000万円(全国21位)	5,000万円(全国20位)
	資料点数 (本館資料+読書活動支援資料)	実績	1,010,407点(全国18位)	1,020,787点(全国18位)	1,040,409点
	閉架書庫の残存率	実績	-	11.3%	8.7%
	蔵書構成(上位3分類)	実績	1位「社会科学」154,167冊 2位「文学」117,608冊 3位「歴史」73,258冊	1位「社会科学」162,196冊 2位「文学」119,317冊 3位「歴史」76,590冊	1位「社会科学」165,002冊 2位「文学」121,061冊 3位「歴史」78,304冊
	分類別図書購入冊数(上位3分類)	実績	1位「社会科学」2,027冊 2位「児研資料」1,206冊 3位「自然科学」1,061冊	1位「社会科学」2,256冊 2位「児研資料」1,437冊 3位「自然科学」1,160冊	1位「社会科学」2,570冊 2位「文学」1,671冊 3位「歴史」1,584冊
資料提供	リクエストに対する資料提供率 *(購入+相互貸借/リクエスト総数)×100	目標	-	-	97%
		実績	97%	99.7%	99.3%
		達成率	-	-	102%

○図書館サービス

指標		実績	H26	H27	H28	
基本的な指標	専任司書数/職員総数	実績	18人/53人	18人/54人	18人/58人	
	新規登録者数	実績	6,047人	4,143人	3,444人	
	障がい者サービス新規登録人数/登録総数	実績	12人/411人	6人/417人	9人/426人	
	入館者数	実績	567,046人	526,729人	532,788人	
	貸出冊数	実績	657,549冊	554,197冊	447,757冊	
	生涯学習の学習機会及び施設を	児童図書研究室資料のパッケージの貸出件数	目標	-	-	20件
実績			10件	15件	14件	
達成率			-	-	70%	
セット文庫貸出件数 *小中学校、高校・特別支援学校等		目標	90件	90件	90件	
		実績	75件	92件	85件	
		達成率	83%	102%	94%	
録音図書貸出点数 *カセットテープとDAISYの合計	実績	3,252件	2,693件	3,008件		
	目標	90%	90%	90%		
	実績	99.8%	95.0%	98.7%		
窓口サービス満足度(総合含む) *大変満足+満足	達成率	111%	106%	110%		
	県図書館レファレンス件数 (所蔵・口頭を除く)	目標	8,000件	8,000件	8,000件	
		実績	8,238件	7,605件	5,722件	
達成率		103%	95%	72%		
課題解決	県行政機関(県職員)からのレファレンス件数	実績	44件	70件	67件	
		目標	90%	90%	90%	
		実績	95%	97%	97%	
県図書館レファレンス満足度 *大変満足+満足	達成率	106%	108%	108%		
	ピサ情報	郷土・地図資料の展示及びメディア掲載・放映用貸出点数	実績	106点	47点	74点

○県内市町村図書館等への支援

指標		実績	H26	H27	H28	
基本的な指標	県民一人あたりの貸出数(県内全図書館)	目標	5.3冊	5.3冊	5.3冊	
		実績	5.29冊	5.75冊	5.80冊	
		達成率	99.8%	108.5%	109.4%	
	県内相互貸借定期便 資料流通点数	目標	22,000点	22,000点	22,000点	
		実績	20,280点	21,760点	21,531点	
		達成率	92%	99%	98%	
県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会の参加者数	実績	318人	330人	315人		
	目標	25講座	25講座	25講座		
	実績	28講座	28講座	24講座		
県図書館職員による出前講座の派遣件数	達成率	112%	112%	96%		
	満研修度の	県図書館が主催する県内図書館職員向け研修会における満足度指数	目標	90%	90%	90%
			実績	99.0%	98.5%	95.6%
達成率			110%	109%	106%	

○広報活動

指標		実績	H26	H27	H28
広報	県図書館ホームページアクセス件数	目標	30,000件	300,000件	300,000件
		実績	247,102件	293,278件	329,120件
		達成率	82%	97.8%	109.7%

Ⅱ 平成 28 年度アクションプランの数値目標の達成状況

平成 27 年に「岐阜県図書館の運営方針」に基づき 7 つの数値目標を設定し、平成 28 年に新たに 18 の指標を追加した。

達成状況は、前年度実績を下回るものもあるが、年度ごとの点検・評価と改善を繰り返して、目標達成を目指すものである。

【評価基準】

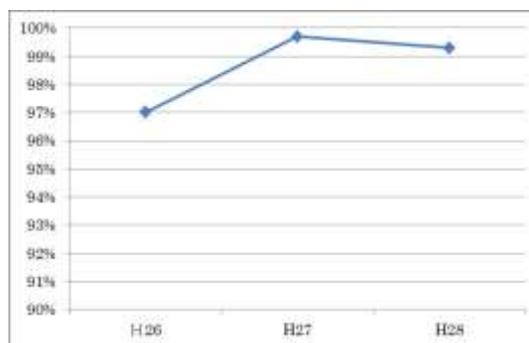
S (極めて優れている)	取組や活動が極めて優れており、特筆すべきである。
A (良好である)	取組や活動が良好であり、目標が達成されている。 (数値目標の達成率が 100%以上)
B (不十分である)	取組や活動が不十分であり、改善すべきところがある。 (数値目標の達成率が 100%未満)
C (極めて不十分である)	取組や活動が極めて不十分であり、課題の整理・抜本的な見直し・改善が必要である。

1 資料の収集・保存

(1) リクエストに対する資料提供率

	H28 (%)	評価	H27 (%)
目標	97	A	-
実績	99.3		99.7
達成率	102%		-

$$\frac{\text{購入 124 冊} + \text{相互貸借 1,050 冊}}{\text{リクエスト総数 1,182}}$$

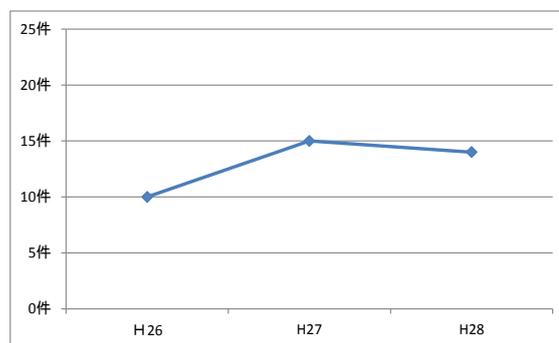


- 0.7%にあたる 8 冊は、当館の資料収集方針をもとに選書会で検討して購入不可となったが、リクエスト者が相互貸借による提供を希望されなかったもの。
- 当館が所蔵していない資料に対するリクエストには、購入または相互貸借によって極力提供するよう努めている。

2 図書館サービス

(1) 児童図書研究室資料のパッケージの貸出件数

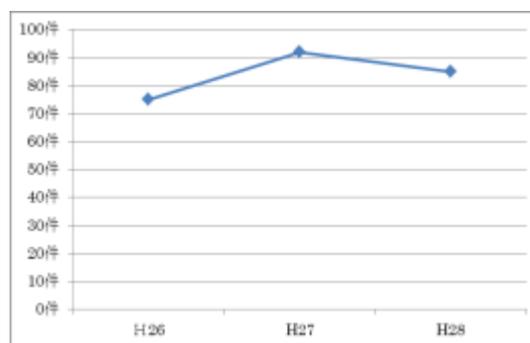
	H28 (件)	評価	H27 (件)
目標	20	B	-
実績	14		15
達成率	70%		-



- ・児童図書の研究、勉強会に役立ててもらうため、児童図書研究室資料をパッケージセットとして貸出するもので、よく利用されるものは「新刊絵本パック」と「読みくらべ絵本」のパックである。
- ・児童サービス実践研修講座等、県内図書館職員の研修の機会にPRすると反応があるので、今後も、機会をとらえて積極的にPRしていく。

(2) セット文庫貸出件数

	H28 (件)	評価	H27 (件)
目標	90	B	90
実績	85		92
達成率	94%		102%

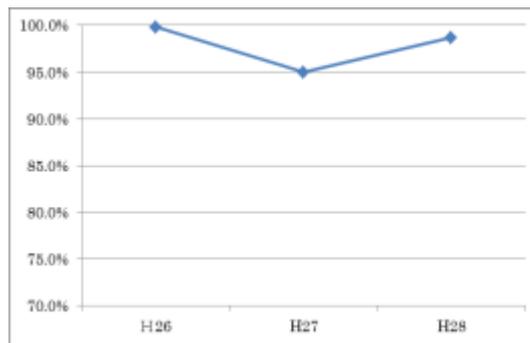


- ・平成 26 年度に高校向けセット文庫を整備して貸出を開始し、27 年度は積極的にPRしたため、貸出件数は伸びたが、28 年度はやや減少した。(26 年度よりは増加)
- ・28 年度、海外情報コーナーに英語の多読テキストを設置したことを機に、高校向けセット文庫でも中学生から使えるレベルのテキストを中心に新規購入したので、今後、利用をPRしていく。

(3) 窓口サービス満足度（大変満足＋満足の合計）

	H28 (%)	評価	H27 (%)
目標	90	A	90
実績	98.7		95
達成率	110		106

利用者アンケート調査（4段階評価）
 第1回8月24日～8月31日 回答数304人
 第2回2月1日～2月16日 回答数200人
 の2回を実施し、「大変満足」と「満足」と回答された割合を満足として計上した。



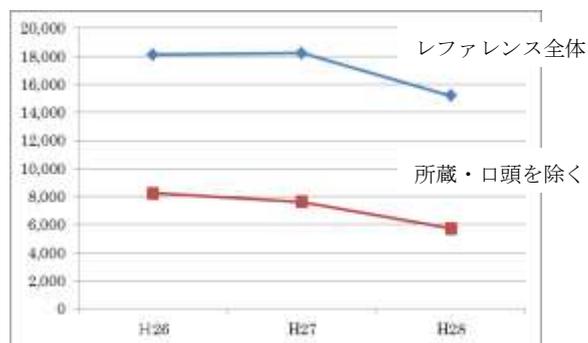
- ・窓口サービス満足度は高い数値を維持している。職員一人一人が、利用者目線にたった接遇への心構えをもち、適切な対応がとれているためと考えられる。昨年度はコミュニケーションボードや障がい者向けのバリアフリー機器を窓口に備え、利用環境を整えている。
- ・今後は、認知症や発達障がいなどの個別の問題を抱えた方への対応が円滑におこなえるようにさらに研修を重ねていく。

(4) レファレンス件数（所蔵・口頭を除く）

	H28 (件)	評価	H27 (件)
目標	8,000	B	8,000
実績	5,722		7,650
達成率	72%		95%

○レファレンス全体

	H28 (件)	H27 (件)	H26 (件)
実績	15,175	18,219	18,110

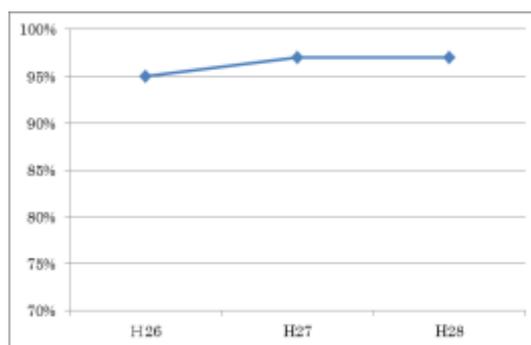


- ・レファレンス件数は昨年度に比べ大幅に減少した。レファレンス全体では、児童関係のレファレンスが1,704件減少しており、児童資料の利用減少と連動している。
- ・今後は、司書がビジネス・健康医療・子育て等の各種施設や講座等に出向いて能動的に課題解決支援を行っていく。また、今年度導入したデータベースを活用し、レファレンスサービスの充実を図る。

(5) レファレンスの満足度（大変満足＋満足の合計）

	H28 (%)	評価	H27 (%)
目標	90	A	90
実績	97		97
達成率	108		108

利用者アンケート調査（4段階評価）
 第1回 8月24日～8月31日 回答数 304人
 第2回 2月1日～2月16日 回答数 200人
 の2回を実施し、「大変満足」と「満足」と回答された割合を満足として計上した。



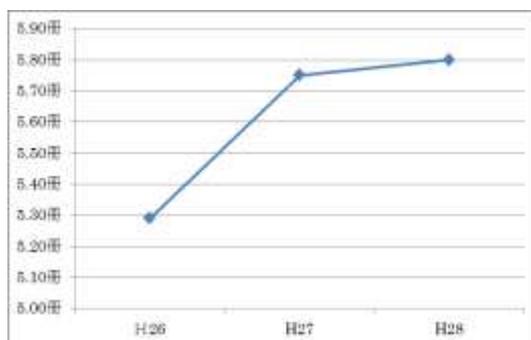
- ・レファレンスの満足度は高い数値を維持している。利用者の要求に丁寧に対応し、的確に情報・資料を提供することができたためと考えられる。
- ・今後は、研修やOJTなどの従来の研鑽に加え、ビジネス・ライブラリアンの育成に力を入れる。また、新規導入のデータベースを活用したビジネス支援や行政サービスの拡充に努めていく。

3 県内市町村図書館等への支援

(1) 県民一人あたりの貸出冊数（県内全図書館）

	H28 (冊)	評価	H27 (冊)
目標	5.3	A	5.3
実績	5.80		5.75
達成率	109.4%		108.5%

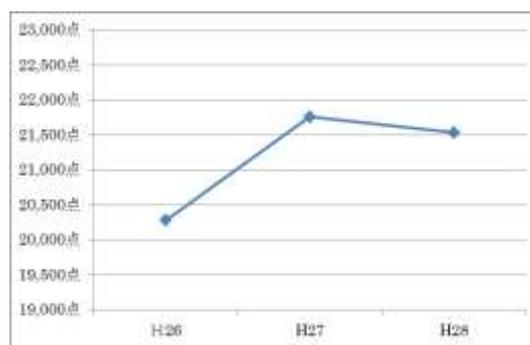
平成28年度貸出総数 11,295,120冊



- ・引き続き、岐阜県全体での貸出数が増加している。岐阜県図書館は2年で20万冊以上貸出が減少したが、昨年度は読書通帳の配布する等全県的な読書普及に寄与している。
- ・今後は、増加した資料費をより関心の高い分野の資料収集にあて、県内図書館のバックアップ機能を充実させ、相互貸借による利用を支える。また、図書館スタンプラリーを全県的に行い、読書普及を推進し、貸出冊数の増加を図っていく。

(2) 県内相互貸借定期便資料流通冊数

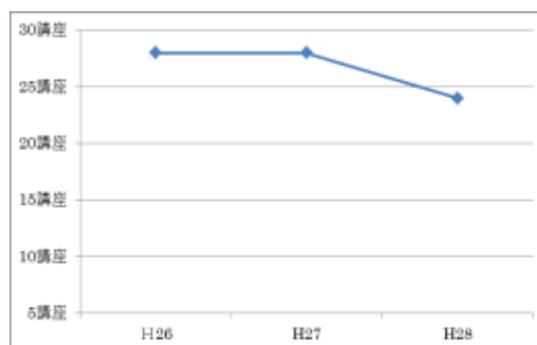
	H28 (点)	評価	H27 (点)
目標	22,000	B	22,000
実績	21,531		21,760
達成率	98%		99%



- ・平成 27 年度に相互貸借システムの変更により、利用手続きが簡便になり利用が伸びたが、昨年度はやや減少した。今年度より、市町図書館への定期配送便について、希望のあった 4 館で増便（週 2 便）している。
- ・今後は、さらなる増便も含め県内図書館の要望を聞きながら、全県民が県図書館の資料を気軽に利用できる環境を整えていきたい。

(3) 県図書館職員による出前講座の派遣

	H28 (講座)	評価	H27 (講座)
目標	25	B	25
実績	24		28
達成率	96%		112%

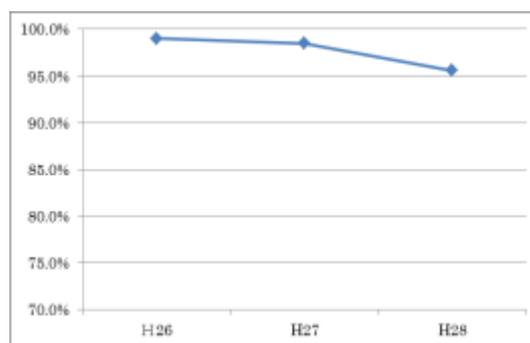


- ・出前講座の派遣申込みがあった場合は、すべて派遣しているが、28 年度は 26、27 年度にくらべて派遣申込みが減少した結果、件数が減少した。

(4) 県図書館が主催する県内図書館員向け研修会における満足度

(大変満足＋満足の合計)

	H28 (%)	評価	H27 (%)
目標	90	A	90
実績	95.6		98.5
達成率	106		109

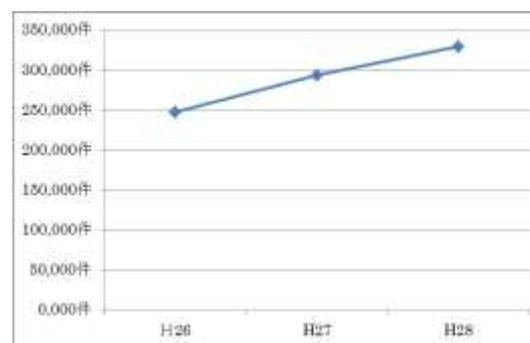


- ・満足度は減少傾向にあるが、依然高い数値を維持している。今後も市町図書館の研修ニーズを把握し、満足度を維持するよう努力をしていく。

4 職員研修・広報活動

(1) 県図書館ホームページアクセス件数

	H28 (件)	評価	H27 (件)
目標	300,000	A	300,000
実績	329,120		293,278
達成率	109.7%		97.8%



- ・27年度に引き続きアクセス件数は増加している。システム更新で所蔵資料がデジタル画像を含め一括検索できるようになったことやイベントの情報発信をHPで効果的に行ったことがアクセス数向上に影響したと考えられる。また、「大人のためのブックトーク」の概要をHPに掲載し、次の参加や図書館利用につなげるようにした。